

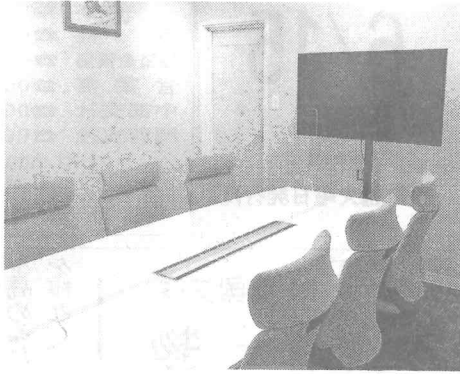
オンラインで開催

全ト協×OCHIS

SAS対策セミナー

全日本トラック協会(長)は23日から、睡眠時(坂本克己会長)とヘル 無呼吸症候群(SAS) スケアネットワーク(II) 対策のセミナーをオンライン形式で開催する。

OCHIS、武田裕理事



OCHIS大阪オフィス内に新設したスタジオでオンラインセミナーを開く

今年度は計8回開き、参加者はSASの理解度に応じて基礎編と応用編が選択できる。OCHISの作本貞子副理事長は「これまで参加が難しかった方、助成事業がテーマ。

遠方や小規模企業の要望をくみ取れる」と語る。OCHISは6月、大阪オフィス(大阪市)内に防音設備を整えたスタジオを新設し写真。新型コロナウイルスの影響で対面形式の講演が難しい中、オンラインのニーズが高まっていた。これまで別室でウェブ配信用の録画を行っていたが、雑音が入り収録が中断することがあり、スタジオの本格運用を決めた。

基礎編と応用編の選択が可能

SAS対策のオンラインセミナーは、基礎編と応用編の2パターンで行う。基礎編は、SASの特徴や症状、検査の進め方、助成事業がテーマ。

応用編は、SAS診断後の治療方法、社内サポート体制の支援について説明する。基礎編は23日を皮切りに8月19日、10月20日、来年2月16日。応用編は7月15日、9月15日、11月25日、来年1月19日。共に計4回開催する。定員は各50人で、全ト協ホームページで申し込める。「オンラインセミナーを通じて、SAS検査の重要性をより幅広くト

たい(作本副理事長)。また従来の講演方式の健康管理セミナーは今年度、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ各都道府県ト協で開催する。

(遠藤 仁志)